

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|--------|-------|-----------------|---|----|-------|--------|---------|--------------|---------|----------------------|----------------|-------------------------------------|
| 科目区分 | 専門教育科目 | 授業科目名 | 保育方法論 | | | 科目コード | 23Y311 | 担当者 | 本村 弥寿子、織田 芳人 | | | 担当形態 | オムニバス |
| 対象学科・コース | 幼児教育学科 | 配当年次 | 2年次 | 開講学期 | 前期 | 単位数 | 2 | 必修・選択の別 | 選択 | 免許・資格要件 | 幼稚園教諭必修、保育士必修 | | |
| 授業形態 | 講義 | 履修条件 | | | | | | | | | 教育職員免許法施行規則に定める科目区分等 | 科目区分 | 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 |
| 実務の経験を有する教員担当科目 | | 該当 | 実務の経験内容及び科目との関連 | 幼稚園と小学校の勤務経験がある。この勤務経験を基に保育の基本を踏まえた保育方法について授業を行う。(本村) | | | | | | | | 科目に含めることが必要な事項 | 教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) |

| | | | |
|-------|--|----------------------|---|
| 授業の主題 | 保育の基本及び幼児教育に基づいた保育の方法について学習する。 | 課題等への対応(フィードバックの方法等) | 教員が添削したものを授業の中で返却し、課題の内容を確認しなおす。定期試験は、合格点に達しなかったものは再試験を行うが、それでも達しなかった場合は不合格とする。 |
| 授業の方法 | プリントを使用し、板書しながら講義を進める。内容によっては適宜グループを作り、ディスカッションを行う。(本村) 必要に応じてグループワーク及びグループディスカッションを行う。(織田) | アクティブ・ラーニングの実施方法 | |

| 回数 | 授業計画 | 事前・事後学修 | 回数 | 授業計画 | 事前・事後学修 |
|-----|--------------------------------|--|------|--------------------------------------|--|
| 第1回 | オリエンテーション、乳幼児期にふさわしい保育の方法①(本村) | 3法令解説に目を通し、幼児期にふさわしい保育の方法を確認する。 | 第9回 | PCソフトを活用した保育記録の作成①(織田) | 保育記録に活用する画像とテキストを準備する(予習) 保育記録作成にあたっての留意事項をまとめる(復習) |
| 第2回 | 乳幼児期にふさわしい保育の方法②(本村) | 3法令解説に目を通し、幼児期にふさわしい保育の方法を確認する。 | 第10回 | PCソフトを活用した保育記録の作成②(織田) | 保育記録の作成を進める(予習) 保育記録を確認する(復習) |
| 第3回 | 3・4・5歳児の発達に応じた保育方法①(本村) | 3歳以上児の保育についての記載を3法令から探し目を通しておく。 | 第11回 | PCソフトを活用した保育記録の意義(グループディスカッション)(織田) | PCソフトを活用した保育記録の意義をまとめる(復習) |
| 第4回 | 3・4・5歳児の発達に応じた保育方法②(本村) | 3歳以上児の保育についての記載を3法令から探し目を通しておく。 | 第12回 | PCソフトを活用した紙芝居の作成①(グループワーク)(織田) | 紙芝居のストーリーを準備する(予習) 紙芝居のストーリー作成を進める(復習) |
| 第5回 | 0・1・2歳児の発達に応じた保育方法①(本村) | 3歳未満児の保育についての記載を3法令から探し目を通しておく。 | 第13回 | PCソフトを活用した紙芝居の作成②(グループワーク)(織田) | 分担する作業を適宜進める(予習) ストーリーの中で担当している部分を修正する(復習) |
| 第6回 | 0・1・2歳児の発達に応じた保育方法②(本村) | 3歳未満児の保育についての記載を3法令から探し目を通しておく。 | 第14回 | PCソフトを活用した紙芝居の作成③(グループワーク)(織田) | 分担する作業を適宜進める(予習) ストーリー全体を確認する(復習) |
| 第7回 | 保育における評価(本村) | 保育内容総論で学んだことを復習しておく。 | 第15回 | PCソフトを活用した紙芝居作成の意義(グループディスカッション)(織田) | PCソフトを活用した紙芝居の意義をまとめる(復習) |
| 第8回 | 保育に活用するICT機器(織田) | 保育に活用できるICT機器を調べる(予習)(織田) 保育に活用するICT機器をまとめる(復習)(織田) | | | 事前・事後学修時間(分/授業1回) 180分/授業1回 |

| | | | |
|---------------------|--|------------|---|
| 教科書 [書名/著者名/出版社] | 毎回の授業でレジュメを配布する。(本村) 必要に応じて資料を配布する。(織田) | 受講生へのメッセージ | 目の前の子どもをどのような子どもに育てようとしていますか。子ども一人一人を理解し、発達段階を把握したうえでねらいを持ち、保育に携わりましょう。(本村) |
| 参考書 [書名/著者名/出版社] | 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領/文部科学省、厚生労働省、内閣府/チャイルド本社 | | |

